

第5回 大宮グランドセントラルステーション推進会議
基盤整備推進部会 主なご意見等

開催日時：平成29年8月4日（金）15:00～17:00

開催場所：大宮区役所 南館301会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 久保田 尚 教授
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部 課長（代理）
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 運輸統括部 業務課主任（代理）
交通事業者	国際興業 運輸事業部 担当部長
交通事業者	西武バス 取締役 運輸計画部長
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課長
関係行政機関	大宮警察署 交通課長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
デザインコーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部） 事業企画第2課長

■駅前空間（交通広場、交流空間）について 【⇒事務局からの回答】

- ・比較表に「交通広場の視認性は良好」という表現があるが、これはどういう意味か。
- ⇒駅前前にバス乗り場が配置された場合は、はじめて大宮に来た方でも迷わずにバス乗り場へ向かえるということである。交通広場南地区配置案や中地区配置案については、建物の一階部分に乗り場がくることになるので、視認性に課題があると考えている。
- ・鉄道とバスの乗換距離が遠いと利便性は低下する。乗換動線を工夫して交流空間とバスの乗降場を円滑に接続させて欲しい。
- ・新たな東西通路からバス乗り場まで人が歩くことによって商店街が賑わうといった側面もあるのではないか。
- ・鉄道とバスの乗換経路に上下移動があると、利便性が低下するだろう。デッキがあることは利便性に大きな影響を与えると思う。
- ・利用者の動線を考慮した検討が必要である。
- ・建物の地上レベルに交通広場が配置される案があるが、各地区の方は了解しているのか。
- ⇒これはケーススタディであり、合意形成がなければ当然実現できないものである。今後はオープン会議等も含めて議論していく。
- ・新たな東西通路が処理する交通量によって、交通広場との距離についても考え方が変わるのではないか。
- ⇒交通広場と東西通路は近い方が利便性は高いと考えているが、まずは様々な案のメリットやデメリットを比較し検証している段階である。
- ・歩行者空間について、交流空間とそうでない箇所の違いは何か。
- ⇒イベント等に対応できる設えがある箇所が交流空間であり、それ以外は通行機能がメインとなる。
- ・中山道に交差点を設置し、そこからバスやタクシー等の出入りを行うことで、交通広場内の動線を整理することができるのではないか。
- ⇒既存交差点との連担に加え、現在のバス動線は中央通りからの出入りが多いため、交差点の設置は難しいと考えている。
- ・デッキを拡張させ、デッキ上で賑わいが創出される可能性もあるのか。
- ⇒まだ十分に検討できていない。今後は事業者の意見等を参考にしつつ、議論を進めていきたい。
- ・中央通路と東西通路の性格が違えば、通路によって性格付けをすることも考えられる。
- ・中央通りや銀座通りの地下空間は活用しないのか。
- ⇒タクシープールの配置を想定しているが、駐車場や荷捌スペースとしての活用も検討したいと考えている。地下空間の活用については、まちづくり推進部会でも検討したい。

■「道路ネットワーク」について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 駅や交通広場だけでは意味がなく、中山道や大栄橋など周辺の道路ネットワークも併せて考えて欲しい。
 - ・ 各検討ケースについて、コストとの関係性はどうなっているのか。
- ⇒まずは交通状況を把握したうえで、各ケースの実現可能性を検討しつつ概略的なコストも整理したい。
- ・ アンダーパスについて、大栄橋から吉敷町まで通過できるだけなのか、それとも途中で駅前周辺へアクセスすることも可能なのか。
- ⇒詳細については、これから検討していく。
- ・ 大栄橋交差点は特に大きな負荷が想定されるので、交通量を踏まえ詳細な検討をして欲しい。
 - ・ 大宮駅北側での4車線化とあるが、これはどのようなものか。
- ⇒大栄橋周辺で交通が捌けない場合や構造的に困難である場合などは、大栄橋よりも北側のエリアにおいて4車線の検討もしていきたいと考えている。
- ・ 一度に全ての整備ができる訳ではない。整備の優先順位を考えて整理することが必要である。

以上